

揭示文書

課題名「細胞遊走阻害活性を有するフシコクシン誘導体の脳腫瘍治療への応用」

1. 研究内容

現在、膠芽腫の化学療法にはテモゾロミド、カルムスチン脳内留置用剤などが使用されますが、治療効果は十分とは言えません。本研究では新規作用機序を有するフシコクシン誘導体を膠芽腫の治療薬として応用するための評価を行うことを目的とします。

2. 対象

2021年3月までに金沢大学附属病院で膠芽腫と診断された患者様のうち、腫瘍摘出術を施行し、脳腫瘍幹細胞を抽出された方を対象とします。

3. 研究の方法

上記対象の患者様の腫瘍組織から抽出した脳腫瘍幹細胞を本研究の抗がん活性評価に使用します。

4. プライバシーの保護について

本研究調査を行うにあたっては、患者氏名や患者番号などを取り除いた情報を使わせて頂きます。このような情報を除いたものであっても金沢大学附属病院脳神経外科の管理者が責任を持って厳重に保管します。集計したデータについては本研究のためだけに使用し、最長5年間保管管理を行った上で廃棄する予定となっています。

この研究調査の対象となる方々については、ご協力いただけるか否かについては自由意思です。情報の使用を希望されない方はお手数ですが、2016年9月31日までに金沢大学附属病院脳神経外科までご連絡いただけますようお願い致します。また、一旦同意なさる意向でご連絡なさっていない場合についても上記期間内であればその時点でデータを取り除いた状態で集計報告を行います。

なお、参加を希望なさらない方について、今後本疾患に関する検査や治療を行う際に不利益となるようなことはありません。

金沢大学医薬保健研究域 脳・脊髄機能制御学
研究責任者 中田光俊 電話：076-265-2384